

東先生にお世話になりました。(山村君)  
 川畑さんにお世話になりました。(石濱君)  
 穴吹さんにお世話になりました。(石濱君)  
 坂井さん、卓話ありがとうございます。半井さんありがとうございます。吉田先生にお世話になりました。(上野君)  
 今月は米山月間です。よろしく願います。(槇塚君)

上野さん復帰おめでとうございます。(新谷君)  
 清水さんおつかれさま。(新谷君)  
 お久しぶり。(新谷君)  
 早退お詫び。(半井君、石橋君、中村君、植松君、森君、石濱君)

## 例会変更のご案内

月日	曜	クラブ名	例会場	→	月日	曜	場所	時間
10/20	木	高松グリーンRC	オークラホテル高松	→	10/20	木	高松市総合体育館 和弓場	18:00

## 卓話「クラブ研修リーダー育成セミナー報告」 「戦略計画委員会」設立報告

2016年9月11日坂出グランドホテルにて基調講演「規定審議会と戦略計画について」三木明講師が開催された。また、グループ討論を通して今後わがクラブでも「早急に戦略計画委員会を創設し、長期計画の指針に基づくプログラムを作成し、効果的な活動をするべきである」と思う。  
 クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP)

効果的なロータリー・クラブの不可欠な要素として、下記の事項を明確に示唆している。これらの事項は、常任5委員会のことを指している。

- ① 会員基盤を維持し、あるいは増大する。
- ② 一般の人々にロータリー情報と奉仕プロジェクトの趣旨、内容を広報し、ロータリーを理解してもらう。
- ③ 地元社会および他国の地域社会のニーズを取り上げた成果溢れるプロジェクトを実施する。
- ④ 資金の寄付およびプログラムやプロジェクトの参加を通じてロータリー財団を支援する。
- ⑤ クラブのレベルを超えてロータリーで奉仕できる指導者を育成する。

クラブ独自のリーダーシップ・プランを作成するのを支援することが現在、DL Pの構成要素の1つとして義務付けられている。

高松東ロータリークラブ理事会は社会から認められる、高レベルの認識を確保し、維持するためには長期計画が必須であるとの結論に至った。そして2016年10月1日より活動する長期計画委員会（今後RIに協調し戦略計画委員会と称す）設置を9月理事会で承認した。下記の目標がクラブの年度計画に反映されるよう、会長エレクトと共に協議し、修正していくものとする。

### 目標

- 1、 会員基盤の強化、拡大
- 2、 ロータリー情報、その他関連の知識をクラブ内でより深められる環境を整える。
- 3、 奉仕活動は、そのソースとして、地域のニーズに沿ったテーマを採択する。
- 4、 公共イメージの高揚は会員一人一人が自らの言行に「4つのテスト」を実践するように心がけることを推奨する。
- 5、 以上の事項が、クラブ年度計画に反映できるようにサポートする。

### 構成組織

委員長 坂井幸博  
 委員 池内征二郎  
 委員 上野明  
 委員 尾崎勝  
 委員 穴吹朋士

以上報告。

ロータリー情報委員会  
 委員長 坂井幸博